

宇都宮市立海道小学校 第4学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○家庭での学習に関する7問の質問中5問で、肯定的な回答をした児童の割合が県と比べて10ポイント以上上回った。保護者と担任が連携して家庭学習を推進してきたことの成果であると考えられる。

○「勉強をしていてなぜだろうと感ずることがある。」と「疑問や不思議に思うことはわかるまで調べたい。」の質問に対して肯定的な回答をした児童はどちらも94.7%で、県と比べて10ポイント以上上回っている。児童の興味や関心のある学習内容を取り入れることで個々のやる気を引き出していきたい。

●「授業では、クラスの友達との間で話し合う活動をよく行っている。」「クラスは発言しやすい雰囲気である。」「クラスの友達との間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」という質問に関して、肯定的な回答をした児童の割合が県と比べて5ポイント以上下回った。話し合い学習を授業に積極的に取り入れることで、友達と一緒に難しい課題を解決していく満足感や自分の考えが認められる充実感、自分にはない考えに出会うことの驚きや思考の広がりを経験させていきたい。